

ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設一覧

No.	グループ名	場所	整備内容
1	あおぞら広場をつくる会	金沢区谷津町	あおぞら谷津保育園の園庭の一角に、誰もが立ち寄りやすい場としてパーゴラやベンチ、カウンターを設け、保育園と地域をつなぐ場を整備した。
2	師岡熊野神社「いの池」愛護会	港北区師岡町	地域の人々がかい堀りや清掃により守り、大切にしてきた「いの池」の水環境を改善するため、導水管の設置、池周辺への植樹、活動掲示板の新設、太陽光発電の容量の増強等を行った。
3	熊野の森，子どもの居場所プロジェクト実行委員会	港北区樽町1丁目	地域の子どもたちが気軽に立ち寄り、日常的な交流が生まれる「地域の公民館＆公園」を目指し、個人住宅の一部とその屋外空間をコミュニティスペースとして整備した。
4	二つ台みーとみーとPJ	保土ヶ谷区釜台	横浜国立大学の近傍にあり、地域のシンボルとして親しまれてきた精肉店の空き店舗を改修し、飲食店営業や菓子製造が可能な業務用キッチンを備えた多世代交流拠点を整備した。
5	パレット境木ベース運営委員会	保土ヶ谷区境木本町	地元で長年愛され、惜しまれながら閉店したパン屋の空き店舗を活用し、イベントスペースや菓子製造・飲食営業許可付きのキッチンとカフェを整備した。



ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設 保育園と地域をつなぐ新たな交流拠点 「あおぞら広場」が完成しました！



金沢区^{やつちょう}谷津町にある「あおぞら谷津保育園」と地域の皆様が連携し、“まち全体で子どもを育てる”ことを目指した整備提案が、ヨコハマ市民まち普請事業で採択され、この度、園庭の一角に交流拠点「あおぞら広場」が完成しました。

この広場をきっかけに、多世代の交流が生まれ、「ゆるやかに顔の見える関係」が広がり、地域全体に波及することで、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつなげていきます。

ついに！ あおぞら広場の整備が完了しました！

園庭の一角を地域に開放し、子どもたちと地域の方が交流できる場所としました。自然なかたちでふれあいが生まれるよう、パーゴラ、ベンチ、カウンターなど様々な工夫を凝らしています。



あおぞらふれあいまつり in 谷津にてお披露目をします！

ぜひ遊びに来てください！

第11回 あおぞらふれあいまつり in 谷津

日時：2025年11月16日（日）
10:00～15:30（雨天決行）

10:00～10:25 に
あおぞら広場完成イベントが行われます

場所：あおぞら谷津保育園・谷津染井公園

参加方法：ご自由にご参加いただけます

取材を希望される方は、直接会場までお越しください。



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

あおぞら広場 施設の概要



①ふらっとパーゴラ

みんなが集まる場所の目印として、園庭側からも道路側からも見えやすいパーゴラを設置しました。白く軽やかなパーゴラが、地域の方を迎えるシンボルとなり、優しい影を作ります。

②みんなのベンチ

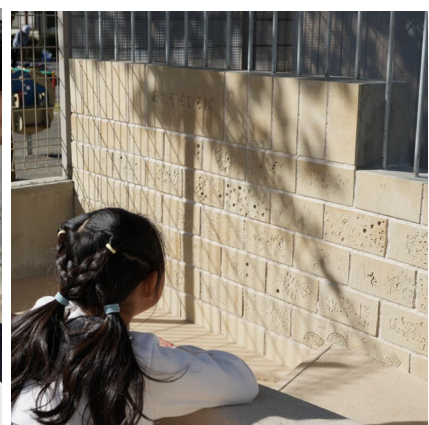
園庭側から道路の方に伸びる形で、いろいろな高さのベンチを設けました。子どもたちの声に包まれながら、ひと息つける場所です。

③おとなこどもバーカウンター

園庭側からは園児たちが、道路側からは地域の方が利用でき、両者がそこで交流できるカウンターです。

④広場変身ゲート

広場の出入口の部分に、開放と閉鎖のモードを切り替える大きな門を設けました。開放モード時には、あおぞら広場を自由に利用できます。



子どもたちが製作したタイルの壁面

みんなで作ったあおぞら広場

あおぞら広場を考える WS



保育開きと安全確保の両立、地域が主体的に関わりやすい環境とは？など、保育園の保護者や地域の方と約1年をかけて議論しました。

こどもワークショップ



あおぞら広場で何をしてみたいか、何があったらいいかを園児と一緒に考え、粘土や画用紙を使って自由に形を作りました。

タイル製作ワークショップ



つくる過程に子どもたちに参加してもらいたいという思いから、あおぞら広場の正面の壁に貼るタイルに絵を描いてもらいました。



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



あおぞら広場の利用について

保育園と地域をつなぐ場として、広場を活用したイベントも今後開催していく予定です。

開放時間：月～金 9:30～12:00 この時間は誰でも利用できます！

所在地：金沢区谷津町 231-5（京急「金沢文庫駅」西口徒歩 8 分）

<イベントスケジュール> ぜひお立ち寄りください！

11月29日(土) 10:30～ みんなであそぼ！絵本・紙芝居・季節の制作

12月12日(金) 10:30～ クリスマスオーナメントづくり

1月24日(土)・2月7日(土)・21(土)・3月7日(土)・28日(土) 10:30～

みんなであそぼ！絵本・紙芝居・季節の制作

※整備提案を行った「あおぞら広場をつくる会」は、「あおぞら谷津保育園」を拠点に、保育園と地域をつなぐ広場の整備を目指し、保育園関係者、保育園保護者、地域住民などで構成されたグループです。

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先

都市整備局地域まちづくり課 [電話] 045-671-2679

[E-mail] tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp



◀ まち普請事業
ウェブページ

まち普請



令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





ヨコハマ市民まち普請事業 令和 7 年度整備施設 子どもが地域への愛着を育む新たな交流拠点 「こんちわ -レモンと縁側の庭-」が完成しました！



港北区樽町の住宅街の一角に、地域の新しい居場所「こんちわ -レモンと縁側の庭-」が完成しました。本施設は、地域で活動する市民グループによる提案が令和 6 年度ヨコハマ市民まち普請事業で採択され、整備されたものです。グループのメンバーが自宅を住み開きし、一部をコミュニティスペースとして整備しました。地域の子もたちが気軽に立ち寄り、日常的な交流が生まれる「地域の公民館＆公園」を目指します。

壁がなくなり、新たな交流の場所が誕生！

自宅の屋外を地域の公園に！壁を撤去したことでより入りやすい空間になりました。見通しも良くなり、交通事故の危険性も減少しています。整備に向けては、地域住民や子どもたち、学生たちも DIY や地域活動に参加。この場所から地域のつながりが育まれています。



After



Before



DIYの様子

「こんちわ -レモンと縁側の庭-」とは？

本施設は、師岡・樽町エリアを拠点に子どもの居場所づくりに取り組む地域プロジェクトチームが中心となって運営しています。拠点となる一軒家は、チームの代表夫妻の住まいで、庭のレモンの木と縁側が象徴的です。家の一角はすでにリノベーションされ、あたたかな土間では、子どもたちが遊んだり宿題をしたりする姿がよく見られます。子どもたちがやりたいことに挑戦し、小さな活動から社会が変わる経験ができる場となること、自然豊かな樽町環境を活かし、環境や資源循環について学べる場となることを目指して活動しています。



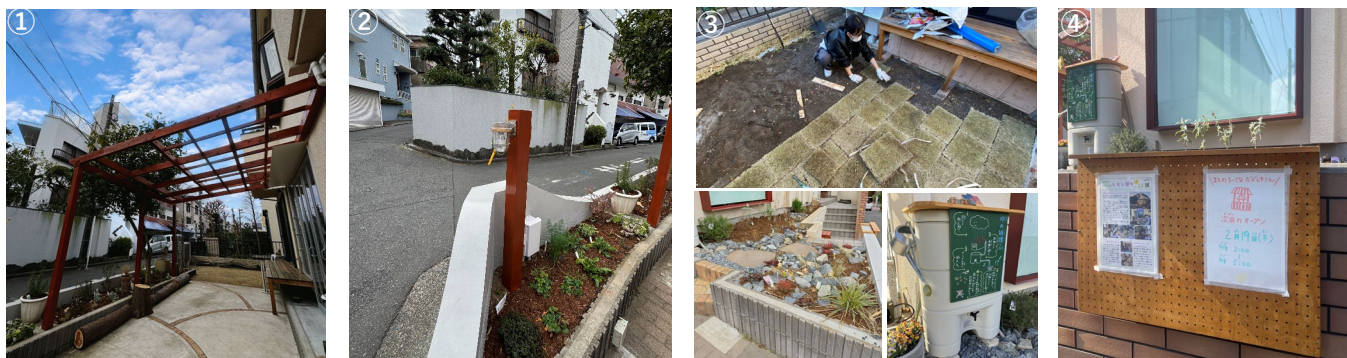
裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





①パーゴラの設置

屋内と屋外をつなぐ半屋外空間を整備し、地域の新たなシンボルが生まれました。

②外壁の撤去と屋外照明の設置

壁を撤去し、地域に開かれた場にするとともに、見通しの確保による事故防止に繋がります。

③芝生・雨庭・雨水タンクの整備

子どもや地域の人がかつろげる小さな広場になるとともに、資源循環を学ぶきっかけを生み出します。

④掲示板の整備

掲示板を設置し、活動報告や行事予定など、地域に情報発信を行います。

これからの活動

この高台エリアにはこれまで自治会館がありませんでしたが、現在は新たな自治会館として活用され始め、地域の拠点としての役割が広がっています。さらに、花壇や雨庭の植物が成長した際には、港北区のイベントへの参加も予定しています。地域を巻き込んだ様々なイベントの企画も進んでいます。

「まちのちいさなだがしやさん」は毎週木曜日 14 時～17 時で営業中！子どもたちでいつも大盛況です。



駄菓子屋の様子



子どもたちが庭で遊ぶ様子



自治会の会合の様子



 @kumanolemon

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となっていく地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50 万円～500 万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先 都市整備局地域まちづくり課

〔電話〕 045-671-2679 〔E-mail〕 tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

令和8年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-2665



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設 地域の力で歴史ある「いの池」を再生しました！

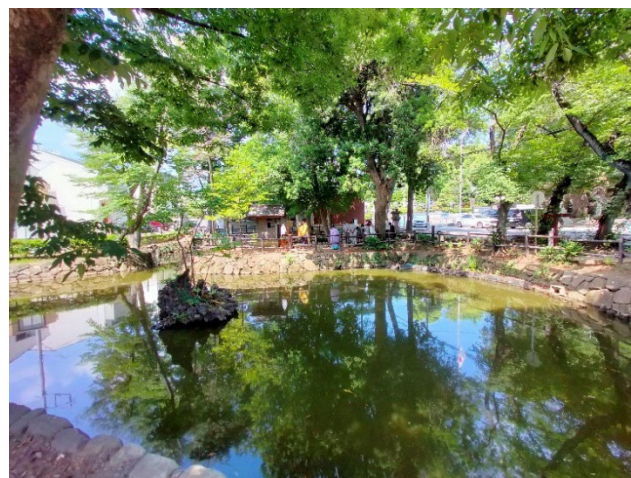


港北区師岡町で活動する師岡熊野神社「いの池」愛護会が中心となり、地域住民とともに師岡熊野神社境内の「いの池」を再生する整備提案が、ヨコハマ市民まち普請事業で採択され、神社境内の雨水や汲み上げた地下水をいの池へ導く整備が完了しました。

水の循環が戻り、豊かな自然環境の再生へ前進するとともに、地域の子どもから大人まで幅広い世代が参加する活動を通じて、世代を超えた地域のつながりも生まれています。



地域一体で進めた「いの池」再生



自然豊かな「いの池」

いの池とは？

1,300年の歴史をもつ師岡熊野神社の一角にあり、市の史跡に登録され、市民の森にも指定されています。歴史と自然に触れられる憩いの場として、地域の人々から親しまれています。

まち普請提案のきっかけ

かつて「いの池」は師岡の田畑を潤す貴重な水源でしたが、都市化により水の流れが変わり、水質が悪化。地域では池の泥を取り除く「かい堀り」を続け、得た土を森に返すなど資源を循環させながら、水質保全や自然環境の改善に取り組んできました。活動を重ねることで一定の改善は見られましたが、自然の循環を取り戻すためには、「いの池」に新たな流入水を確保する整備が必要でした。

こうした状況を踏まえ、「いの池」の環境保全を行う師岡熊野神社「いの池」愛護会が中心となり、提案を行いました。

これからの活動

今後も清掃やかい堀り等の環境保全活動을続け、「いの池」を子どもたちの「ふるさとの原体験となる場」として守り育てます。

また、市民の森の竹を活かした行事（竹灯籠・流しそうめん等）や池のライトアップ等の活動も進め、地域の子どもから大人まで自然に集い、世代を超えてつながる場として次世代へ引き継ぎます。



所在地：港北区師岡町 1137 番地
(東急東横線「大倉山駅」より徒歩8分)



「いの池」愛護会
Instagram

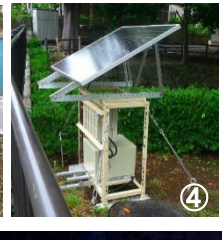
裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

整備概要



①神社から池への導水管の設置

池の水質改善のために、神社の地下水をいの池に届ける導水管を設置しました。

②池周辺の景観整備

水辺の魅力創出のため、老朽化した石垣を補修し、池周辺に記念樹等の植栽を行いました。

③掲示板の新設

活動報告や行事予定などの情報発信と交流スペースに活用する掲示板を設置しました。

④太陽光発電の容量アップ

池の水ろ過装置等の電源として使用する太陽光発電の容量を増強しました。年末のライトアップにも活用しています。

地域みんなで力を合わせ、いの池の再生整備を進めました！



みんなで池を大掃除！



みんなで植栽！



太陽光発電の製作はDIYで！

参考：ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となっていく地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先 都市整備局地域まちづくり課

[電話] 045-671-2679 [E-mail] tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

令和8年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設 キッチンを備えた多世代交流拠点 「二つ台みーとみーと」が完成！



保土ヶ谷区釜台町に、地域のシンボルとして親しまれてきた精肉店の空き店舗を改修した多世代交流拠点「二つ台みーとみーと」が、令和8年2月2日に完成しました。

近隣の横浜国立大学卒業生が立ち上げ、大学関係者も加わる市民グループによる提案がヨコハマ市民まち普請事業で採択され、地域イベント等に利用可能なスペースや、飲食店営業や菓子製造が可能な業務用キッチンが整備されました。

施設整備に先立ち、横浜国立大学と連携した地域課題実習の場として活用されている他、地域の病院とのコラボカフェ等幅広い連携も進んでいます。今後も、まちに新たな賑わいを生み出す開かれた拠点として運営していきます。



▲二つ台みーとみーと内部の様子
キッチンから生まれる活気がまちを彩っていく

二つ台みーとみーと

所在地：保土ヶ谷区釜台町44-13(JR・東急・相鉄新横浜線羽沢横浜国大駅から徒歩約13分)

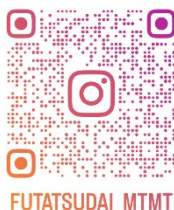
営業時間：9:00～21:00(当日のイベント等により変動)

レンタル料金：1時間 1,000 円 (申込方法等、詳細は下記へお問合せください)

HP：<https://futatsudai-mtmt.com>

メールアドレス：futatsudai.mtmt@gmail.com

〈Instagram〉



〈公式 LINE〉



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

整備のポイント

天井の塗装やタイル貼り、造作工事は地域住民や横浜国立大学の学生による DIY で実施することで、多様な人が関わり合いながら拠点を作り上げました。整備過程を地域に開いてマルシェ等を開催することにより、認知度向上と住民交流の新たな契機となりました。

建物は地域に親しまれてきた旧精肉店としての記憶を継承し、空間の中心にキッチンを設置するとともに、道路側には全面開放可能な建具を採用し、建物内の活動や賑わいが自然とまちにしみ出る構成としています。



住民や学生の手で DIY する様子(左)
まちに大きく開いた^{しみど}都戸(右)



① シェアキッチン

地域の方の「やってみたい!」「やりたい!」を実現できるチャレンジの場を提供。(上)

横浜国立大学の学生が様々な企画立案を行い、地域課題解決や地域交流を促進。夜間は学習塾に。(右)



② イベントスペース

子どもから大人まで楽しめるイベントを主催し、地域住民・団体への貸出しも行う。(上)



③ 学びの場

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50 万円～500 万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先 都市整備局地域まちづくり課

[電話] 045-671-2679 [E-mail] tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

令和8年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設 懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ新たな交流拠点 「パレット境木ベース」が完成しました！



保土ヶ谷区境木本町の境木商店街に、地域の多世代がつながり、挑戦し、にぎわいを育む新たな交流拠点「パレット境木ベース」が完成しました。本施設は、境木商店街にかつてのにぎわいを取り戻したいという市民グループの提案が、ヨコハマ市民まち普請事業で採択され、整備されたものです。

地で長年愛されながら閉店したパン屋の空き店舗を活用し、地域の人々の協力を得て、イベントスペースやキッチン・カフェスペースが整備されました。人が集い交流できる居場所づくりを通じて、顔の見える関係を育み、支え合える地域づくりを目指しています。



外観



2階：カフェ

子ども食堂

施設の
概要

1階：イベントスペース



地場野菜・ハンドメイド小物の販売

2階：キッチン



光陵高等学校コラボ企画(豚汁提供)

1階：イベントスペース

日替わりで出店メンバーによる飲食物の販売やワークショップを実施しています。パンやケーキ、地元野菜等の販売のほか、各種ワークショップの開催など、地域のコミュニティ活動に幅広く活用できるスペースです。

2階：キッチン・カフェスペース

菓子製造・飲食営業許可付きのシェアキッチンを整備。気軽に立ち寄れるカフェとしての利用に加え、地域の人々の特技や趣味の活動を生かした活動など、新たなことに挑戦したい方々が活動を広げていける場所です。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「パレット境木ベース」とは？

境木商店街で地域交流の拠点となることを目指し、地域の方々と協力しながら、マルシェや子育て支援をはじめとした各種イベントを企画・運営しています。

【主催事業】

- ①商店街の喫茶店「Tearoom ねこのて」：境木商店街の老舗店舗とタイアップし、出前やお弁当を楽しめるランチを、毎週月曜日に提供することで、商店街活性化につなげています。
- ②子育てサロン：子育て中(乳幼児)の保護者向けに、保育チームの見守りつきでワークショップや食事のできるカフェを開催しています。

【その他】

子育て世代からシニア世代まで、多くの方にとって安心して集える地域の居場所になるよう、さまざまな活動を展開しています。

①シニア世代を対象とした脳トレ等の活動、②2階キッチンにて製造をしたお菓子・ハンドメイド小物・地場野菜等の販売、③各種ワークショップの開催、④子ども食堂の実施、⑤光陵高等学校の学生と連携した商店街活性化のためのコラボ企画、など

【所在地】

保土ヶ谷区境木本町 1-35（「境木中学校前」バス停から徒歩3分）

【営業時間】

出店内容により異なります。詳細は公式 HP または Instagram のカレンダーでご確認ください。



<公式 HP>



<Instagram>

「パレット境木ベース」の活動



商店街の喫茶店「Tearoom ねこのて」



子どもの見守りのあるワークショップ



シニア向けサロン

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先 都市整備局地域まちづくり課

【電話】045-671-2679 【E-mail】tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

令和8年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

地域まちづくり課担当課長 阪本 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

